

がんが心配



(1) 腫瘍マーカー

～血液の検査で早期発見につなげます～

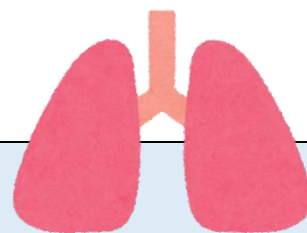
腫瘍マーカーとは…

正常な細胞に比べて、がん細胞で特に多量に作られる物質のことをいい、がんの有無や種類などを知る目安となります。妊娠時やがん以外の病気でも、高値を示すことがあるため、他の検査と組み合わせての総合的な診断が必要です。

	検査項目	検査料金	検査の説明
【腫瘍マーカー 単独検査】			単独検査のほかに、お得なセットタイプもあります。
1	CEA	1,430 円	消化器系(主に大腸がん)検査 他に胃・膵臓・肝臓・胆のう等の消化管、肺がん、子宮・卵巣がん、乳がんでも高値を示します。
2	AFP (α-フェトプロテイン)	1,430 円	肝細胞がん検査 他に精巣・卵巣腫瘍でも高値を示します。 胚芽腫、肝炎、肝硬変、劇症肝炎でも高値を示すことがあります。
3	CA19-9	1,760 円	消化器系(主に膵臓がん・胆管がん)検査 肝臓・大腸がんでも高値を示しますが、膵炎・胆石など良性疾患でも高値となります。 CEAと合わせて測定することにより、膵臓がんの正診率が高くなります。
4	PSA (前立腺特異抗原)	1,925 円	前立腺がん(男性)検査 50 歳以上の男性の方に前立腺がんが増えています。 尿が出にくい、尿回数が多い、下腹部不快感、残尿感などの症状がある方にオススメです。
5	CA125	1,925 円	卵巣がん(女性)検査 子宮内膜症の診断にも用いられます。 月経時や、妊娠初期、肝硬変、膵炎でも高くなる傾向があります。
6	SCC	1,430 円	肺がん(扁平上皮がん)・子宮がん検査 食道がんなどの扁平上皮がんでも高値を示します。 扁平上皮に由来するため、それらの臓器の良性疾患でも検出されます。
7	NSE	1,760 円	神経系腫瘍・肺がん(小細胞がん)検査 他に神経芽細胞腫・膵臓がんでも高値を示します。
8	エラスターゼ1★ ★セット検査の追加のみ可能。 単独検査はできません。	2,310 円	膵臓がん検査 エラスターゼ1は主に膵臓で産生される消化酵素で、膵炎や膵がんなど膵臓の疾患で高値を示すようになります。 膵がんの早期発見には、血液中の膵酵素の測定が有用であるとされ、膵酵素の中でもエラスターゼ1は血液中に長くとどまるため、陽性率が高く、早期膵がんの診断に有用です。

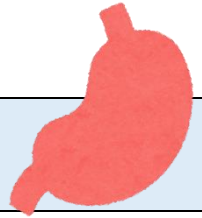
	検査項目	検査料金	検査の説明
【腫瘍マーカー セット検査】			単独検査よりも 220円 お得なセット価格になっています。
1	3項目セット	4,400 円	「1 CEA」+「2 AFP」+「3 CA19-9」のセット CEAは、大腸や、胃・膵臓・肝臓・胆のう等の消化管、肺がん、子宮・卵巣がん、乳がんでも高値を示します。がんの初期には陽性率は低く、がんの進行により高値を示します。 AFPは、肝細胞がん、精巣・卵巣腫瘍でも高値を示します。胚芽腫、肝炎、肝硬変、劇症肝炎でも高値を示すことがあります。 CA19-9は、肝臓・大腸がんでも高値を示しますが、膵炎・胆石など良性疾患でも高値となります。CEAと合わせて測定することにより、膵臓がんの正診率が高くなります。
2	男性におすすめ セット	6,325 円	「3項目セット」+「4 PSA」 3項目セットにPSAを追加したセットです。 50歳以上の男性の方に前立腺がんが増えています。 PSAは、尿が出にくい、尿回数が多い、下腹部不快感、残尿感などの症状がある方にオススメです。 
3	女性におすすめ セット	6,325 円	「3項目セット」+「5 CA125」 3項目セットにCA125を追加したセットです。 CA125は、卵巣がん、子宮内膜症の診断にも用いられます。 月経時や、妊娠初期、肝硬変、膵炎でも高くなる傾向があります。 
4	膵臓セット	4,070 円	「3 CA19-9」+「8 エラスターゼ1」 CA19-9は、肝臓・大腸がんでも高値を示しますが、膵炎・胆石など良性疾患でも高値となります。 エラスターゼ1は、主に膵臓で産生される消化酵素で、膵炎や膵がんなど膵臓の疾患で高値を示すようになります。膵臓はがんが発生しても症状が出にくく、早期の発見が難しい臓器です。膵がんの早期発見には、血液中の膵酵素の測定が有用であるとされています。膵酵素の中でもエラスターゼ1は血液中に長くとどまるため、陽性率が高く、早期膵がんの診断に有用です。

(2) 肺がん



	検査項目	検査料金	検査の説明
1	低線量胸部 CT検査 【要予約】	9,680 円	肺がんの早期発見、肺気腫、肺結核の診断に 肺全体を30数枚の輪切り像にして透かすように詳細に調べることができるため、胸部X線画像では診断が困難な病巣も、CT検査なら描出可能です。 低被ばく線量で高精度の検査が可能なCT装置ですので、従来の装置よりも約10分の1の被爆線量で済みます。 50歳以上、喫煙経験がある、息切れ・咳などの症状が続く、粉塵作業の経験がある方にオススメです。
2	喀痰検査 【要事前連絡】	3,146 円	50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方に 痰の中の細胞を顕微鏡で観察し、悪性細胞の有無を調べます。 検査容器をお送りしますので、事前にご連絡ください。

(3) 胃がん



	検査項目	検査料金	検査の説明
1	胃内視鏡検査 (経口) 【要予約】	16,500 円	食道・胃・十二指腸の病変発見に 胃カメラを口から入れて胃や十二指腸の状態を観察し、がんの他に、潰瘍やポリープなどの病気の有無を調べます。 ピロリ菌感染者・除菌者、胃部X線検査(バリウム検査)が苦手な方にオススメです。 1年に1回の受診をオススメします。
2	ピロリ菌検査 (血清ピロリ菌 抗体検査)	1,760 円	ピロリ菌感染の有無を調べます。 胃がピロリ菌に感染していないか調べる検査です。 ピロリ菌は、胃粘膜にダメージを与えて、萎縮や発がんに影響していると考えられており、胃がんの99%はピロリ菌感染によるものです。 ピロリ菌の除菌によって、胃がんのリスクを減らすことができます。 「4 ペプシノゲン検査」と合わせての検査がオススメです。
3	ピロリ菌検査 (便中ピロリ菌 抗原検査) 【要事前連絡】	3,190 円	ピロリ菌の除菌成功の有無を調べます。 胃がんの99%はピロリ菌感染によるものです。 過去にピロリ菌を除菌した方を対象に、除菌の成功不成功を確認します。 専用の便容器をお送りしますので、事前にご連絡ください。
4	ペプシノゲン 検査	2,200 円	胃がんのリスク要因である「胃粘膜萎縮」を血液で予測します。 ペプシノゲンは、胃で作られる酵素・ペプシンのもとになる物質です。 ペプシノゲンの減少は胃粘膜の萎縮が進み、胃がんが発生しやすい状態であることを示します。 5年に1回の受診をオススメします。

(4) 肝がん、胆管がん、膵臓がん、腎臓がん、脾臓がん

	検査項目	検査料金	検査の説明 
1	腹部超音波検査 【要予約】	5,830 円	腹部のスクリーニング(病気の早期発見)に最適な検査 被ばくの心配がない超音波を腹部に当て、肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓・大動脈などの形・大きさ・病変を画像化して観察します。 内臓疾患や大動脈瘤のスクリーニングに適しています。 消化管ガスの影響などで、腹部超音波検査では見えづらい場合は、「2 腹部CT検査」をオススメすることがあります。 1年に1回の受診をオススメします。
2	腹部CT検査 【要予約】	8,800 円	腹部の臓器(肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓)の状態を調べます。 過去に消化管ガスなどの影響で、腹部超音波検査で見えづらいついと言われた方にオススメです。 内臓脂肪の測定も同時に行います。
3	肝炎ウイルス検査	2,310 円	B型・C型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。 肝がんの主な原因は、B型肝炎、C型肝炎ウイルスの持続感染と言われています。 過去に肝機能異常の指摘を受けた方、過去に輸血や、大きな手術を受けたことがある方、妊娠・分娩時に多量出血したことがある方にオススメです。

(5) 乳がん 【要予約】 1～2年に1回の受診をオススメします

	検査項目	検査料金	検査の説明
1	マンモグラフィ 検査 (1方向撮影)	4,895 円	 早期のがんの発見に有効とされています。 専用のX線撮影装置で、左右それぞれの乳房を板で挟んで、薄く引き伸ばして撮影します。 40歳以上の女性は定期的に検診を受けましょう。 乳房内の乳腺の割合が高い方(高濃度乳房の方)は、「3 超音波検査」とのセット受診がオススメです。
2	マンモグラフィ 検査 (2方向撮影)	6,050 円	1方向撮影: 乳房組織全体を最も広く描出できる撮影法です。 2方向撮影: 1方向では捉えられなかった範囲を補完し、より詳細な評価が可能になります。
3	乳房超音波 検査	6,050 円	専用の自動撮影装置で、3D データとして解析し判定します。 超音波検査は被ばくの心配がありません。 40歳以上の女性は定期的に検診を受けましょう。 乳房内の乳腺の割合が高い方(高濃度乳房の方)にオススメです。 「1、2 マンモグラフィ検査」とのセット受診がオススメです。

(6) 子宮がん 【要予約】 1～2年に1回の受診をオススメします



	検査項目	検査料金	検査の説明
1	頸部細胞診 検査	5,203 円	精度の高い液状化細胞診法で実施しています。 20歳代の子宮頸がんが増えています。 20歳以上の女性は定期的に検診を受けましょう。 子宮がんや、がんになる前の病変を発見します。 子宮頸部(子宮の入口)から細胞をこすって採取します。
2	体部細胞診	3,300 円	50歳以上の方は頸部細胞診検査への追加がオススメ 子宮の内側にある子宮内膜の細胞をこすって採取します。 月経不順、閉経後、未妊娠の方にオススメです。 頸部細胞診検査に追加のみ可能で、単独検査はできません。 <u>「1 頸部細胞診」+「2 体部細胞診」 料金は 8,503 円</u>
3	HPV検査	4,961 円	子宮頸がんの原因ウイルス(HPV)の感染を調べます。 子宮頸部から採取した細胞から、ウイルス感染の有無を調べます。 頸部細胞診検査に追加のみ可能で、単独検査はできません。 <u>「1 頸部細胞診」+「3 HPV 検査」 料金は 10,164 円</u>

生活習慣病が心配

～肥満・運動不足・飲酒・喫煙～



	検査項目	検査料金	検査の説明
1	ロックス・インデックス (LOX-index)	14,300 円	心筋梗塞・脳梗塞の将来の発症リスクを予測 動脈硬化は、自覚症状がないまま進行し、ある日突然心筋梗塞や脳梗塞を発症します。 この検査では、血液中の酸化した超悪玉コレステロール(酸化変性LDL)と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進行させるタンパク質(LOX-1)の数値を測定し、将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを判定します。
2	血圧脈波 (CAVI/ABI)検査	1,980 円	動脈の硬さ、動脈の詰まり、血管年齢がわかります。 動脈硬化が気になる方、脂質異常症・高血圧症・糖尿病・肥満の方、喫煙者にオススメです。 ※上腕にむくみのある方、出血傾向がある方、血液のうっ滞が血栓を作る可能性がある方、人工透析シャントのある方は測定できません。
3	BNP検査	1,650 円	心臓病の早期発見に BNPは、心臓に負担がかかると分泌されるホルモンのことで、心臓の機能が低下して心臓の負担が大きいほど多く分泌され、数値が高くなります。
4	アディポネクチン 検査	2,860 円	心筋梗塞、脳卒中などのリスク、隠れ肥満の発見に アディポネクチンは、脂肪細胞から分泌される、超善玉、長寿ホルモンのことで、高血圧や糖尿病になりにくい作用、血管の傷を修復する作用があります。 基準値以上であれば、生活習慣病の発症リスクは少なくなります。